

武蔵野市議会だより

MUSASHINO
MUNICIPAL
ASSEMBLY

No.398

発行日 令和6(2024)年11月15日

発行 武蔵野市議会

市議会ホームページ

<https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 2-3面
- 決算に対する各会派の討論 4面
- 一般質問 5-7面
- 議案審議結果一覧 8面
- 陳情審議結果 8面

第三回市議会定例会

第三回定例会は九月三日から同月三十日まで開催されました。今議会では、二十三人の議員による一般質問が行われました。議案では、令和五年度武蔵野市決算の認定についてのほか、継続審査となっていたグラントピアノの買入れについてなど十二件の市長提出議案、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の議員提出議案が審議されました。

令和五年度決算を認定

一般会計歳入は七百九十四億円、一般会計歳出は七百六十二億円

「令和五年度武蔵野市決算の認定について」、「令和五年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」および「令和五年度武蔵野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」は、九月十八日に設置された決算特別委員会に付託され、同日に各会計決算の事項別説明を受けた後、九月十九日から四日間の審査を行いました。

した(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)。

九月三十日の本会議では、宮代 一利 決算特別委員長が委員会での審査経過の報告を行い、各会派の代表七名と会派に属さない議員一名の計八名が討論を行いました(四面に各会派の討論を掲載)。討論終了後の採決の結果、武蔵野市決算の認定については賛成多数

で認定され、その他二議案は全会一致で可決され、および認定されました。

一般会計補正予算を可決 ワクチン接種事業に係る経費を計上、 わくらす武蔵野の土地を購入へ

九月十八日の本会議において、「令和六年度武蔵野市一般会計補正予算(第二回)」が賛成多数で可決され、「令和六年度武蔵野市一般会計補正予算(第三回)」が全会一致で可決されました。

第二回の主な内容は、都が新規に補助を行うことに伴い実施する小児インフルエンザ予防接種事業と、国が接種費用を示した新型コロナウイルスワクチン接種事業について、当初予算の不足分を補正するものです。第三回の内容は、障害者支援施設わくらす武蔵野が立地している土地に相続が生じたことに伴い、当該土地を購入するために四億五千万円を予算に追加するものです。

武蔵野市立武蔵野芸能劇場 ほか二施設の指定管理者の 指定についてを可決

九月九日の総務委員会での審査を経て、同月十八日の本会議において「武蔵野市立武蔵野芸能劇場ほか二施設の指定管理者の指定について」が賛成多数で可決されました。

本議案は、指定管理者制度に関する基本指針において今後の指定管理者の指定については公募を行うものと位置づけた五つの公の施設のうち、武蔵野芸能劇場、武蔵野スイングホールおよびかたらいの道市民スペースについて、公募の結果、新たな指定管理者としてアクティオ株式会社を指定するものです。

指定期間は、令和七年四月一日から令和十二年三月三十一日までの五年間です。

もっと知りたい！議会のこと ～市民と議会の意見交換会～

オンライン
参加も可能
です

武蔵野市議会では、令和2年4月に議会基本条例を制定し、その後も議会改革に取り組んできました。これまでの取り組みを報告し、市民の皆様と幅広く意見交換を行います。

議会って
どんなところ？何を
しているの？

日時 令和6年11月23日(祝・土曜日)午後1時開場

午後1時30分開会 午後3時30分閉会(予定)

会場 武蔵野市役所8階 811会議室

詳細は
ホームページへ

参加方法

<会場参加>

- 申し込みは不要です。直接会場へお越しください。
- お子様の同伴も可能です(託児サービスはありませんが、会場内にキッズスペースがあります。)

<オンライン参加>

- 令和6年11月1日(金曜日)から20日(水曜日)までの間に、事前申し込みが必要です。

1面写真募集要領(次回の締め切り 令和7年1月6日)

- 内 容: 武蔵野市内(市域が一部含まれる公園、施設等を含む。)で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品(カラー)に限ります(人物が写っている場合は、必ずご本人の了承を得てください。)。※インターネット、SNS等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規 格: ①紙焼きの場合 ・サイズ 2L判～A4
②デジタルデータの場合 ・ファイル形式 J P E G形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審 査: 議会広報委員会が審査します。
- 発 表: 採用された作品は、令和7年2月1日発行の市議会だよりに掲載する予定です。ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 著 作 権: 作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限: 令和7年1月6日(月曜日)当日消印有効
- 応募方法: 撮影者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記宛先までご応募ください(本名以外での掲載を希望する場合、上記に加え、ペンネーム(ふりがな)を明記してください)。作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります。
- 宛 先: 〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28
武蔵野市議会事務局市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで
ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで
(上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。)

概要

令和5年度予算は、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 平和が続く未来をつくる予算」として編成されました。令和5年度一般会計および3特別会計の歳入決算総額は1,103億1,909万円、歳出決算総額は1,063億261万円で、40億1,648万円が令和6年度へ繰り越されました。水道事業会計の収益的収入および支出は、収入36億6,059万円、支出36億1,265万円で、収益的収支は4,794万円のプラスとなりました。下水道事業会計の収益的収入および支出は、収入28億976万円、支出26億8,985万円で、収益的収支は1億1,991万円のプラスとなりました。

普通会計で見る財政力指数は、単年度は1.589で、前年度に比べ0.072ポイント上昇し、3年間の平均は1.507で、前年度に比べ0.023ポイント上昇しました。公債費負担比率は2.4%で、前年度に比べ0.2ポイント低下しました。経常収支比率は79.5%で、前年度に比べ1.7ポイント低下しました。東京都26市の平均を見ると、財政力指数(3年間平均)は0.942、公債費負担比率は6.5%、経常収支比率は91.5%となっており、各市との比較では、いずれも良好な数値を保っています。

以下は決算特別委員会における審査の概要です。

総括・人件費

経験豊富な職員の知見が生かされていないのでは

問 二十万円以上の教師用指導書の買い入れに関し、令和六年五月に臨時会を開催し追認する事態となったこの件に関する、経験豊富な職員の知見が生かされていないとの監査委員の指摘について、詳細と対応は。

答 原因は、議決事項となる契約金額の認識が漏れていたことである。職員が実際の会計事務を行っていないことが一つの要因であり、実務の中で育まれる経験が承継されていないと考えた。議決を要する契約の処理方法に関する規則を改正し周知するほか予算編成段階で注意喚起する。

問 事務事業評価に関し、事業数を把握していないとのことだが、削減効果を測るうえでも把握すべきでは。

答 事業全体を把握したうえでの見直しが必要だ。第七期長期計画に合わせ、新たな行政評価制度を検討しており、把握方法等を検討したい。

問 市役所内での、パワーハラスメントやカスタマーハラスメントの状況や対応を伺う。

審査した特別委員

令和5年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

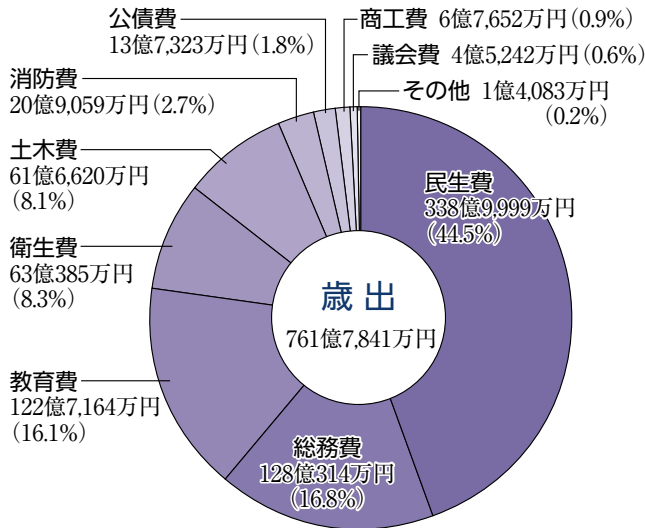
○宮代 一利 ○西園寺 みきこ
道場 ひてり 大野 あつ子
東山 あきお 菅 源太郎
山崎 たかし 三島 杉子
山本 ひとみ 川名 ゆうじ

○印 委員長 ○印 副委員長



宮代 一利 決算特別委員長

人口1人当たり 51万4,444円
1世帯当たり 96万3,065円



答 令和五年度のパワーハラスメント相談件数は二十一件で、コミュニケーションエラーと思われる事例が多く、研修を通じ周知啓発する。カスタマーハラスメントは過剰要求と思われる行為も見受けられ、不当要求と位置づけて組織で対応している。

問 正規職員を削減した一方で会計年度任用職員を増やしてきたが、役割分担や外部に委託する業務を、どう整理するか再検討する時期では。

答 業務が多様化する中で、どうバランスをとり配置するかが問われる。特定事業主行動計画等を検討しつつ、人材育成や行政改革の観点も含め、総合的に考える時期と認識している。

歳入・議会費

ふるさと納税の影響に関する今後の周知方針は

問 ふるさと納税が市税収入へ与える影響について、市報へ掲載したことを評価するが、今後の展開は。

答 ふるさと納税制度により市税収入が減少し、市民サービスへの影響が懸念されること等を周知するため市報へ掲載した。今後も引き続き周知が必要と考えている。

問 議会中継システムに関し、YouTubeによる配信の検討状況は。

答 多摩地域でもYouTubeにより配信している市があるが、配信の供給管理が事業者側になるため、予告なく仕様が変わる、それに伴い配信が突然行われなくなる等の課題があると同っている。過去に議会改革等で協議したが、安定的な配信の点から、当面見送るとの結論を出した。

総務費

子どもの権利は言葉ではなく中身についての周知啓発を

問 子どもの権利について、言葉ではなく中身の理解を高めなければならぬと考えるが周知啓発の目標は。

答 目標は子どもたちに、自分たちにどのような権利があり、どう守られるのか等を知ってもらうことだ。子どもの権利擁護センターで公開講座を行うなど周知啓発に努めたい。

問 住民投票制度については議論が凍結され、第六期長期計画・第二次調整計画のテーマに含まれていないが、住民投票条例の制定を目指す方向性は変わらないと理解してよいのか。

答 今は議論する時期ではないという判断から凍結されているものであり、現時点では第六期長期計画・調整計画の記載自体に変更はない。

問 文化施設の指定管理者について、今年度、公募により財団法人が競争に負けた要因をどう考えるか。

答 民間事業者のよい提案が評価された結果であり、今までの運営、取り組みが劣るとは認識していない。

問 平和施策のあり方懇談会について、有識者から具体的な施策の意見が書き込まれた報告書がまとめられたが、今後市の施策にどう生かすか。

答 市民が保有する戦争遺物に実際に触れられる展示を実施した。また、中高生世代が参加できるイベントを継続的に実施し、戦争体験を次世代につなぐ若者の育成を図りたい。

民生費

補聴器購入費助成事業の今後の拡充の可能性は

問 補聴器購入費助成事業について、市民ニーズの捉え方、事業の課題や今後の拡充についての見解を伺う。

答 難聴は認知症の危険因子の一つであり、フレイル予防として行っている。開始後まもない事業であり、検証しつつ拡充を検討していきたい。

問 福祉総合相談窓口では、コロナ禍による相談内容の変化があるのか。

答 相談内容の大きな変化はないが、ひきこもりの相談窓口が生活福祉課であると認知され、家族からの電話等で窓口につながることが増えた。

問 市内保育園における事故概要について、本件を議会に報告しなかった理由を伺う。また、本件を市として重大な事故と捉え、今後同じことが起こらないように取り組みを進めているという理解でよいのか。

答 該当者の個人情報に配慮した結果、議会に報告しなかった。当該保育園の運営団体からは、本件を重く受け止め対応する旨の連絡を受けており、市としても重く受け止め、しっかりと指導監督していきたい。

衛生費

歯科健診の受診率向上を受け今後の受診率目標設定の水準は

問 歯科健康診査について、令和五年度は四年度より大幅に受診率が伸びたが、今後の受診率目標は。

びたが、どのように受け止めているか。また今後の受診率の目標は。

答 令和五年度から健診対象者全員に受診券シールを送付した結果、受診率が向上した。今後の受診率の目標は、令和五年度の十五パーセントをベースとして考えたい。

問 若年層健康診査の受診率をより向上させるための方策を伺う。

答 三十八歳および三十九歳の国民健康保険被保険者に対し受診を勧奨しているが、受診勧奨対象者の拡大は予算措置を伴うため検討が必要だ。

問 雨水浸透施設等助成事業は、予算額に対し決算額が少ないが課題は。

答 啓発やPRを行い、直接訪問等も行っているが、特殊詐欺と疑われ、面会に応じてももらえない点が課題だ。

問 むさしの市民エコアクションは周知のため、大掛かりな展示を行っていたが、要した費用を伺う。

答 吉祥寺駅前の商業施設事業者の方々に協力いただき、周知のためのパネル展示を行ったが、費用については無償で対応していただいた。

農業費・商工費

アンテナショップ麦わら帽子の全体の実質的な収支を示せ

問 アンテナショップ麦わら帽子の経営状況と令和五年度の実績は。また市で補助している家賃等についても数字として示すべきではないか。

答 アナログとデジタルの両面での広報を展開したことや行出事出店が復活したことなどにより黒字であった。数字について、今後どのような形で表すのかは検討したい。

問 農地保全について見解を伺う。
答 生産緑地や営農が困難になった農地等を貸借し市民農園に転用する



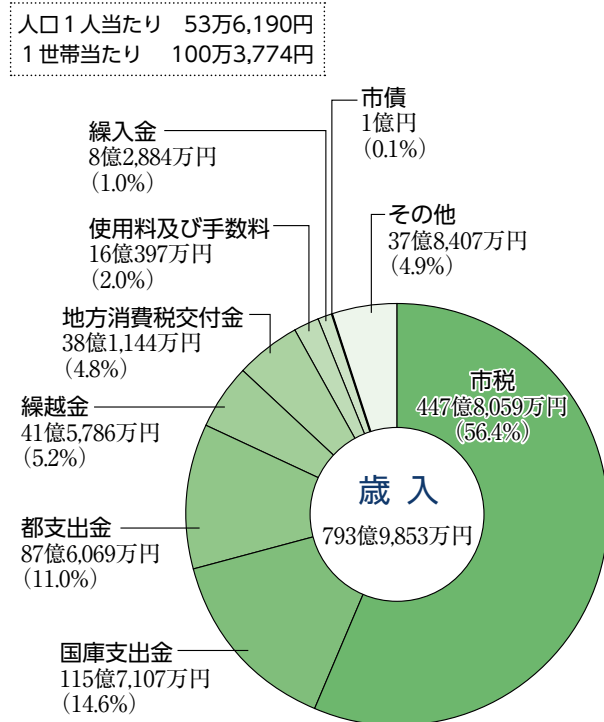
決算特別委員会の審査風景

決算特別委員会

※令和5年度（令和5年4月から令和6年3月まで）
決算の審査内容を掲載しています。

審査

一般会計歳入決算の内訳 および歳出決算の目的別内訳



土木費

三鷹駅北口整備の 進捗状況と課題は

問 商店会活性化出店支援金が三駅圏で広く利用されるよう働きかけては。 答 商店会やむさしの創業・事業承継サポートネット等でしっかりと周知をしていきたい。

問 商店会活性化出店支援金が三駅圏で広く利用されるよう働きかけては。 答 商店会やむさしの創業・事業承継サポートネット等でしっかりと周知をしていきたい。

消防費

災害用トイレの 整備状況は

問 三鷹駅北口の整備に関し、事業の全体的な進捗状況と課題を伺う。 答 令和六年三月に策定した交通環境基本方針で、将来的には二ロータリー化し歩車分離する考えを示した。東または西に土地の拡張が必要だが、これに要する用地取得が課題である。

問 ムーバスの運賃に関し、他の交通事業者等からの意見は出ているか。 答 地域公共交通活性化協議会で市場運賃とのかい離の話はあるが百円で外出支援する観点を守ってきた経緯もあり、今すぐの変更予定はない。

問 あんしん住まい推進事業の予算執行率が低い理由を伺う。 答 二十か所の学校避難所のうち二か所は都立高校で災害用井戸がない。そのようなところに優先的に給水車を配置するなど順位づけが必要だ。

教育費

学習者用コンピューターの 適切な管理・運用を

問 学習者用コンピューターについて、備品台帳への登録が漏れていたとのことだが対応は。また、破損件数増加を受け、令和六年度の運用は。 答 台帳を作成し対応した。保守環境を見直し、修理期間の短縮や保険適用による修繕費低減を図っている。

水道事業会計

漏水調査委託は正確な 漏水件数を計上しているか

問 漏水調査委託について、委託調査以外で発見される漏水もあると考えるが、実績は計上でできているか。 答 市民や工事業者が発見した漏水については、給水施設調査委託中の漏水発見件数として把握しており、すべての漏水件数を計上している。

下水道事業会計

合流式下水道改善施設の状況を 見える化しない理由は

問 東町一丁目や東町四丁目の合流式下水道改善施設の稼働状況をホームページ等で見える化しない理由は。 答 直ちに災害につながるような施設ではないため見える化していない。

監査意見書

〈一般会計、三特別会計〉

各会計の歳入歳出決算書および付属書類は、法令に適合して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、正確であるものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は、法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿および証書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

財産の取得について、予定価格が二十万円以上であるにもかかわらず、議会の議決を経ずに買い入れを行ったことにより、令和六年五月に第一回市議会臨時会が開催され、追認の議案が提出された。また、令和五年度第一回定期監査では購入したすべての学習者用コンピューター等の備品台帳への登録が漏れていることが判明した。財務会計事務をはじめとするさまざまな研修会や説明会が開催されているが、学んだ知識の定着がしっかりと図られていないケースが見受けられる。今後、次世代を担う職員へ先輩職員が持つ知見の承継が進むよう、実務および研修等に係る実効性の向上を研究されたい。

〈水道事業会計〉

決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に適合し、かつ、正確であることを確認した。また、水道事業の経営成績および財政状態を適正に表示しているものと認められた。

〈下水道事業会計〉

決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令におおむね適合し、かつ、正確であることを確認した。また、下水道事業の経営成績および財政状態を適正に表示しているものと認められた。

監査委員

小島 麻里
深沢 達也

決算に対する 各会派の討論

9月30日の本会議で決算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない小林 まさよし 議員の賛成討論もありました。各会派の構成は8面に掲載しております。

決算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会議中継または会議録でご覧いただけます。会議録は11月下旬以降、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー、または市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

- ①令和5年度武蔵野市決算の認定について
②令和5年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
③令和5年度武蔵野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

日本共産党武蔵野市議団

財政力を生かした市独自の生活支援施策と 市民を支える職員の処遇改善・正規職員増を



三島 杉子 議員

①②③賛成

決算審査を通じ、本市の財政力の高さが改めて確認された。新型コロナウイルス感染症が5類となり、市民の活動が再開するも、急激な物価高騰が市民を直撃した中、補正予算を組んでのさまざまな経済的支援の実施を評価する。しかし、コロナの影響からまだ回復していないところや訪問介護報酬引き下げの影響で経営が厳しい事業所もある。都が物価高騰緊急対策補正予算案を提案したが、市でも補正予算を組み独自の物価高騰支援施策の早期実施

を求める。子どもの権利条例の施行を受けた子どもの声を施策に反映する取り組み、常設型の家庭と子どもの支援員の拡充、気候市民会議を受けた気候危機打開の取り組み、平和施策のあり方懇談会報告書を生かした平和への取り組み等を評価する。市政の重要な役割を担う会計年度任用職員や再任用職員の処遇改善と、実務の中で勘どころを承継し、市民サービスの向上を図るため、継続的に必要な仕事をする職員は正規常勤職員にすることを求める。

無所属むさしの

公的な仕事の価値を重視し、自治体の価値を 高めるため、会計年度任用職員の待遇改善を



山本 ひとみ 議員

①②③賛成

第六期長期計画の4年目となる昨年度は、子どもの権利条例の施行や、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけの変更、さらには市長交代など大きな変化があり、市政にどのような影響があるか注視した。今回の決算の大きな課題は、会計年度任用職員の待遇であり、改善を強く求める。また、男女平等の観点から、男性の育休取得日数増加を期待する。武蔵野東学園のグループホーム友愛寮終了後の対応は、都に状況把握を求めつつ、市として一

層の対応を要望する。吉祥寺南病院の診療休止による吉祥寺地区の医療体制を心配する市民は多く、市でも協議をしているとのことだが、行政が関与していただきたい。また、中学校の特別支援学級への通学の個別対応として、スクールバスによる通学支援を求める。不登校の児童生徒には、経済的支援と恒常的な居場所づくりを求める。物価高騰が進む中、基金を活用し格差を是正し、多様性を尊重して差別をなくし、市民参加を深めることを求め賛成する。

市議会公明党

次世代職員への知見の承継、人材育成の再検討、 災害時に市民を守るための職員配置を



大野 あつ子 議員

①②③賛成

令和5年度決算を通し、浮き彫りになった課題として、議会の議決を経なければならなかった手続きの見落としや、学習者用コンピューターの備品台帳への登録漏れ等が挙げられる。監査委員からは次世代の職員への知見の承継を行うべきとの指摘もあり、人材配置や人材育成を再検討すべき時期である。歳入の根幹である市税は堅調であり、安定した財政状況だと考える。歳出では医療費の膨張や物価高騰、人件費の高騰がある。今後は財政計画が上

振れすることを念頭に置かなくてはならないと考える。自治体DXについては、成果が見えてきたと感じるが、情報通信関連等はバンダーロックインの状況になりやすく、随意契約の危険性を肝に銘ずる必要がある。防災について、首都直下地震や大雨は備えなくてはならない災害である。中心になって対応するのは市役所であり、災害時に市民を守るための職員配置が必要だ。市長を先頭に14万8千人の市民を守っていただくことを強く求め、賛成する。

日本維新の会武蔵野市議団

市民の側に立った、コンパクトで 機能的な市役所を目指すべき



東山 あきお 議員

①反対 ②③賛成

昨年と同様に行政改革の成果が見られず、財政上厳しい状況だとしながら、事務事業の数も把握していない。超過勤務も多く、無駄な計画が多いという課題が改善されていない。事務事業評価が進めば、効率的で質の高い仕事ができると考える。また補助率が50%を超える団体の健全化も、議会へは執行額のみで報告であり把握ができない。公文書管理については、想定よりも多くの文書を廃棄している。意思決定に関連した文書のデータでの保存や整理

を強く要望するほか、新型コロナウイルスワクチンの接種記録も、救済のため保存期間の延長を望む。一方で、DXや広報等一定の成果を出し来年度以降期待できる部分もあった。平和事業は、新しい時代に見合った、イデオロギー優先でない事業への進化を求める。本市や日本をめぐる安全保障情勢は大いに変化しており、自衛隊や政府とのさらなる連携を求める。政権交代したからには、市民の側に立ちコンパクトで機能的な市役所を目指してほしい。

立憲民主ネット

市民福祉向上のため、議会と執行部の 情報共有、施策評価の在り方の改善を



菅 源太郎 議員

①②③賛成

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、市長が交代した年であった。決算等審査意見書で、基礎的知識の定着と知見の承継が課題と指摘されており、この指摘は厳しく受け止めなければならないが、市長からみずから先頭に改善を徹底すると、の決意が示されたことを評価し、今後の取り組みを注視したい。会計年度任用職員の待遇改善が急務であるため、改善すべき点を早急に整理し、可能な点から実施に移すよう提案する。市民

の担税力に感謝しつつ、「施策をどのように実施したか（アウトプット）」から「施策の実施が市民にどのような便益をもたらしたか（アウトカム）」に着目した評価へと大幅に改善することを提案する。また、議会と執行部の情報共有の在り方について、議会は二元代表制の一翼として市政への責任を担っているため、今後は情報を共有することで市民福祉を向上していきたい。答弁で今後の改善が約束されたことを評価し、賛成する。

ワクワクはたらく

市民の生命・財産を守るために、 変化のときと捉えて本質的な見直しを



本多 夏帆 議員

①②③賛成

審査の中で、議会への情報共有について課題が示された。議会の役割の一つは市に対する政策提案であり、実態を把握せずに的確な提案はできない。適時適切な情報共有を行うよう強く求める。会計年度任用職員の処遇に関する質疑を通し、採用や人材育成の転換期に入ったと感じるが、様子見を続けず戦略的に取り組んでほしい。バンダーロックインに関する課題も山積みだが、加速するDXを止めないためにも、発注段階からの工夫など、市の価

値観を含めた議論が必要である。また、学校のエアコン設置は予算がないとされる一方で、学習者用コンピューターの故障対応には補正予算を組んでおり、提案のプロセスにおける透明性の確保は課題である。今年は議決を経なかったため追認する事案も発生したが、さまざまなプロセスが形骸化しているのではないかと懸念する。長らく築かれてきた風土、文化を変えることは簡単ではないが、市民の生命・財産を守るために変化のときと捉え、本質的な見直しを求める。

自由民主・市民クラブ

隠し事のない市政、市民満足度の向上と さらに上を目指す市政を求める



山崎 たかし 議員

①②③賛成

令和5年度はコロナ禍が明けた年であった。また年度途中で市長の辞任があり、市長不在の時期を経て新しい市長に替わるとい、市政運営の難しい年度だった。その中で、保健センター増改築に関する建設費増額を議会へ報告する時期が遅れたこと、議会の議決を要する事案について議決を経ず手続きを進めたこと、保育園の重大事案に関して議会に報告がなかったこと等、議会対応に関する問題が多く指摘された。学習者用コンピューターの備品台

帳への登録漏れが明らかになる等、物品管理の課題もあった。また、多額の不用額が発生しているが、これを有効に使えばさまざまな改善が可能である。市民満足度の向上に向け、今までと同じことを行うだけでなく、さらに上を目指して行動するとともに、市長の公約にある隠し事のない市政、市民の暮らしと命を守る市政を第一に願う。今回の指摘事項の改善に取り組み、よりよい武蔵野市となるよう、令和7年度予算につなげることを期待する。

一般質問

第3回定例会では9月3日、4日、5日に23名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月29日登録予定）、インターネット議会でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

武蔵野東学園は子どもの権利を尊重し 誰も取り残さないグループホーム運営を



山本 ひとみ 議員

問 自閉症の子どもとそうでない子どもが共に学ぶ教育で注目を集めた、武蔵野東学園のグループホームである友愛寮が今年9月で閉鎖される。子どもの権利条例で明記されるように、東学園で子どもの権利は生かされているのか見解を伺う。

答 東学園の子どもについても権利は保障されるべきと考える。

問 友愛寮閉鎖による入寮者への対応について、市長の見解は。

答 友愛寮の閉鎖は大変残念な結果だが、東京都と連携し東学園に対して一人一人に寄り添った支援を行うよう強く要望する。

問 新たなグループホームに入居することができない友愛寮入寮者が一人でもいる場合、都は閉鎖を認めないことになるのか。

答 都はすべての入寮者の次の入居先が決定しない限り、閉鎖を了承しないと聞いており、市としても必要な対応を考えたい。

目標なしに公金を投入することなく 各種啓発活動は統計的に有意か示せ



東山 あきお 議員

問 啓発活動については目標設定のないままいたずらに公金を投入せずに、定量的・定性的な目標設定をしていただきたいが、市民ニーズを正確にくみ取り、検証するためには統計学の知識が必要だと考える。市政アンケートや市民意識調査においても、各種啓発活動への認知度、浸透度、目標に関する市民意識等を聴取し、その調査方法や効果は統計的に有意かを数字で示したうえで今後の施策を展開していただきたいが、見解を伺う。

答 いかに効率的にPRし、それがどう市民に伝わり、どうフィードバックされるのか等、統計的に把握していくことも非常に大事だと認識している。しっかりとした目標設定とそれが達成できているか、それをどのように今後の施策につなげていくか等、これから庁内でしっかりと議論しながら進めていきたい。

「プロアクティブの三原則」に鑑み 危機管理の徹底を



道場 ひでのり 議員

問 むさしのジャンボリーの中止について、重大な案件であるにもかかわらず市長への報告や対応等が遅すぎると考えるが、「プロアクティブの三原則」に鑑み、事業中止決定のタイミングや経緯は、ガバナンスの観点から組織上適切であったかを伺う。

答 近年の熊の出没状況に対し万全の対策ができていたとは言えない状況であり、もっと早い段階で報告すべきであったと認識している。直前の中止決定となったことで、準備を進めていた各地区にはご迷惑をおかけしたと思っている。

問 危機管理に関する講習等により職員へ喚起をしていく必要があると考えるが、今後の講習や研修の実施について考えを伺う。

答 現在も研修等は行っているが、これからも危機管理に関する訓練、研修をしっかりと重ねていきたいと考えている。

吉祥寺南病院の閉院に伴う吉祥寺地区の 地域医療課題への対応を求める



与座 武 議員

問 吉祥寺南病院の閉院に関し①従前どおり急性期医療を担える二次救急医療病院を吉祥寺地区に誘致すべきでは②公益を担う市の責任において、可能な限りの支援が必要と考えるが見解は。

答 ①吉祥寺南病院の運営医療法人に対し、二次救急医療の提供や災害時拠点病院となることが可能な後継医療法人を探すよう要望している②吉祥寺地区の地域医療を考える緊急庁内調整会議で、事業継承に関し、どのような支援が可能か検討している。

問 第五小学校が仮設校舎へ仮移転することにより、第五中学校敷地内に小学校と中学校が共存することになるが、体育の授業や部活動、休み時間等で校庭を利用する際の調整状況を伺う。

答 教育活動に支障が出ないように、近隣の小学校から協力を得ながら校庭や体育館、プールの割り当ての調整を行っている。

猛暑の中、学校改築に併せて市立 小・中学校のプール施設の在り方を問う



菅 源太郎 議員

問 学校プールについて①児童生徒の安全確保の観点から気候条件を考慮することへの見解は②民間プールの活用や新たな温水プール整備を含む共同利用プールによる対応について見解は。

答 ①児童生徒の身体はもちろん、施設面の安全性確保は学習効果のある指導を行ううえで重要だ②民間プールや共同利用プールでの指導は児童生徒の安全管理と教員の負担から難しいが、学校懇談会などでの市民の意識、地域の考えを尊重し判断する。

問 民間所有の戦争遺物の目録化や広く市が借り入れて展示するなど、武蔵野空襲等の遺物の収集・活用について見解を伺う。

答 夏季平和事業の際に、市民が所有する鉄かぶとや爆弾の破片などを来場者が実際に触れる機会を設けた。目録の作成に取り組む市民団体との連携や、戦争遺物の常設的な展示も検討する。

今秋から始まるレプリコンワクチンに ついて見解を問う



下田 ひろき 議員

問 レプリコンワクチンの有効性および安全性について、また非接種者に感染するのではないかと懸念に対する見解を問う。

答 一定の有効性、安全性は担保されていると認識をしている。

問 新型コロナワクチン予防接種健康被害救済制度の本市における申請受理件数と認定件数、また認定内容の詳細を伺う。

答 8月30日時点での申請受理件数は12件、認定件数は10件であり、そのうち医療費および医療手当に関する案件は8件、死亡一時金および葬祭費に係る案件が2件となっている。

問 予防接種健康被害救済制度の申請方法や副反応等の被害状況などの丁寧な周知を提案してきたが、その後の状況を伺う。

答 打たれる方が、効果や一定のリスク等についても十分な理解をしたうえで接種ができるよう引き続き周知をしていきたい。

外国にルーツを持つ子どもと 保護者の支援拡充を



さこう もみ 議員

問 母語も日本語も学習が困難なダブルリミテッドを防ぎ、アイデンティティの確立を支えるため、外国にルーツを持つ子と保護者に継続的な母語習得の重要性を伝え機会を提供すべきでは。

答 母語を学習することは大切だと考える。学校では、国際理解教育の中で多様な言語・文化に触れる取り組みを研究したい。

問 保育園での外国にルーツを持つ子と保護者の受け入れは、現場に一任せず、通訳ツール貸し出しや研修等支援をすべきでは。

答 必要に応じオンライン通訳サービス用端末を貸し出している。

問 同性カップルに対し、続き柄欄に「夫（未届）」「妻（未届）」と記載し、事実婚と同等の表記とする住民票の交付は可能か。

答 本年7月に総務省が長崎県大村市へ示した見解や、住民基本台帳事務処理要領等に基づき、同居人と記載する。

教育条件整備、武蔵野東学園友愛寮閉鎖、 東部地域への児童館設置に対する見解は



三島 杉子 議員

問 少人数学級の推進に関し、中学校での正規教員を配置した35人学級の実現を東京都へ要望してほしいが、見解は。

答 教育長会から都に対し、中学校全学年35人学級編成の検討や、都から国へ少人数学級推進を働きかけるよう要望している。

問 武蔵野東学園友愛寮は、行き先が決まらない方が一人でもいる場合、事業の終了や閉鎖はできないと考えるが、見解は。

答 事業終了の可否は都の判断だが、市としても最後の一人まで取り残されない丁寧な支援を武蔵野東学園に強く要望している。

問 東部地域に専門職を配置した児童館の設置を求めるが見解は。

答 第六期長期計画・第二次調整計画で、中高生世代の居場所として児童厚生施設も視野に入れ議論している。第六次子どもプランでも、東部地域の子どもの居場所の確保を検討している。

児童生徒のプライバシーや心情に配慮した 健康診断の実施を



きくち 由美子 議員

問 児童生徒のプライバシーや心情に配慮し、同性の医師が実施するなど、安心して健康診断を受診できる環境整備が必要では。

答 同性の医師を健診に配置することは難しいが、女性の場合は同性の補助員または養護教諭が、健診に立ち会い対応している。

問 母子健康手帳のデジタル化やアプリの導入について、見解は。

答 予防接種事務のデジタル化に向けた国や他自治体の動きも見据え、電子版母子健康手帳の導入やアプリの選定を研究したい。

問 管理負担軽減や利便性を考慮し、学校施設開放等予約システムを導入する自治体もあるが、本市での導入について見解は。

答 システムで予約できないことは課題だと考える。システムの所有者と学校施設の管理者が異なるため、役割分担や個人情報の共有、費用や負担等さまざまな面で課題があり、研究したい。

法令に基づく万全な安全設計で、 安心安全なまちづくりを



深田 貴美子 議員

問 児童生徒の登下校時の荷物軽量化のため、置き勉強ロッカー利用等の取り組みについて全校の実態調査を求めるが見解は。

答 実効性のある軽量化の取り組みを指示し、随時確認していく。

問 平成20年に教師1人1台のパソコンを導入し、デジタルテレビとプロジェクターも現在ほぼ整備された。GIGAスクール構想に後ろ向きな前市長に対し、コロナ禍でのオンライン授業試行を後押しした。さらなる加速を望むが、①教員用デジタル教科書の活用実態②高速大容量の地域BWA*の整備状況は。

答 ①3月に調査し把握している②整備が遅れており調整する。

問 学校事故を科学的に分析し予防につなげる、文部科学省推奨のセーフティプロモーションスクールの導入について見解は。

答 学校安全活動の充実にすでに取り組んでいるが今後研究する。
※地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的として導入された電気通信業務の無線システム

非正規労働者の賃金引き上げ、 ケアマネジャーへの支援拡大を求める



本間 まさよ 議員

問 自治体が発注する公共事業等で働く労働者が、適正な労働環境と賃金等の確保ができる公契約条例の制定を求めるが見解は。

答 国の法整備などによる広域的かつ統一的な対応が優先と考えるが、近隣市区をはじめ他自治体の動向も注視していきたい。

問 公務員全体の約4割が非常勤の会計年度任用職員であり、多くの仕事を担っているが、本市では期末勤勉手当の支給月数や報酬が他市と比べ低い実態であり、引き上げを求めるが見解は。

答 常勤職員の給与とのバランスや、他市の報酬単価の状況等を踏まえ、26市平均より低いところは議論の余地はあると考える。

問 高齢化等によるケアマネジャーの確保が課題だが、対応は。

答 さまざまな支援は行ってきたが、十分に支援が行き届いているか、実際にケアマネジャーの話などを聞き確認したい。

市のワクチン接種事業、小・中学生の 学校間交流に関する市のイベントについて問う



山崎 たかし 議員

問 HPVワクチンやコロナワクチンの接種について、メリットやデメリットを市民に理解しやすく伝える工夫はしているか。

答 予診票送付時に、効果と副反応を記載した国のパンフレットや市のちらしを同封し、分かりやすく丁寧な周知に努めている。客観的な情報の伝え方については引き続き研究・検討したい。

問 子ども議会で、他校との交流を求める声が多くあったが、学校行事としての実行は時間がかかる。まずは市が主導して、学校間の交流ができるイベントを定期的に行うことは可能か。

答 市内中学校総合体育大会や連合音楽会等、すでに市が主導して複数の学校が交流できる行事を行っている。また、市のイベントを私立学校を含めて案内することで、さらなる学校間交流が生まれる可能性があり、さまざまなイベントの中で考えたい。

地域の絆を深める「心のサポーター」の 普及と特養の経営課題を問う



浜田 けい子 議員

問 メンタルヘルスの問題を抱える人に対し、見守り、手を差し伸べる地域づくりが重要であるため、心のサポーター養成研修を実施し市民にも支援の場を広げてはどうかと考えるが見解は。

答 既存事業との関係性を整理し必要に応じ実施を検討していく。

問 シニア支え合いポイント制度について、サポーターと施設とのマッチングがうまくできていないという課題もあるのでは。

答 活動内容や対象施設等の拡大の必要性があると認識している。

問 定員が埋まらないことによる特養の経営課題への対応は。

答 市民の支障にならない範囲で市民以外の入所も検討を進める。

問 会計年度任用職員待遇改善のためベースアップについて伺う。

答 常勤職員の給与と改定の状況や他市の同職種の状況を踏まえ、今後改定について検討していく。

学童クラブの夏休みのお弁当の展望と 会計年度任用職員の処遇改善を求める



川名 ゆうじ 議員

問 学童クラブの夏休みのお弁当について①現状での成果と課題、今後の改善策と展望は②配食事業者の選定は、父母会任せではなく市としても一緒に検討すべきだと考えるが見解を伺う。

答 ①現在試行結果を取りまとめしており、取りまとめ後に議会に報告する②試行を通じて今後どのように進めるか検討したい。

問 社会的に人件費が高騰しており、会計年度任用職員の待遇が自治体間で異なると、優秀な職員が本市に応募しなくなることや、より待遇のよい自治体へ転出してしまふことになりかねず、職種や経験を踏まえ適正な待遇にするべきだと考える。また、会計年度任用職員は重要で大切な職と考えているか見解を伺う。

答 市政を進めていくうえで重要な人材と認識しており、他自治体との均衡も鑑み、改善が必要な部分については検討したい。

熊出没に対する市立自然の村の安全対策と ジャンボリー事業の運営体制強化を



木崎 剛 議員

問 ジャンボリー開催準備期間における熊対応の強化は検討したのか。また、来年度に向けての安全対策の強化について伺う。

答 熊出没の完全な排除は困難だが、間伐の実施、村内巡回、撃退装置の導入等を行った。来年度に向け、柵の設置、熊忌避剤の設置、専門のNPO法人への支援依頼等を検討している。

問 キャンプカウンセラーの人数や年齢構成の状況は。また支援職員との役割を明確にし、技術に応じた対価を支払うべきでは。

答 加入が少なく年齢構成が上がり、課題がある。役割は市とカウンセラーで検討し、謝礼額と勤務時間の整合性も検討したい。

問 新人職員の研修でジャンボリーの支援員として参加しては。

答 研修としての実施は困難だが、事業の意義を伝え、多くの職員がジャンボリー事業に関わってもらえるよう検討したい。

おひとりさまの終活支援や、 コミュニティを担う方の対価改善を求める



西園寺 みきこ 議員

- 問 65歳以上のひとり暮らし女性の相対的貧困率が44.1%と深刻な状況だが高齢単身者の老後と終活に関しどう検討しているか。
- 答 高齢者に限らず身寄りがいない方への支援は課題だ。総合支援調整会議で福祉公社や市民社協とともに事例研究を行っている。
- 問 コミュニティや市民自治を担う諸活動の対価に対する見直しが必要だが、コミセン窓口手当の改善は庁内でどう検討するか。
- 答 市民活動に関する連絡調整会議を設け、補助金や広報等を議論している。有償ボランティアの対価も今後議論が必要である。
- 問 女性支援新法の制定により、本市は女性支援の目的を再度捉え直して支援を拡充していくべきと考えるが、見解を伺う。
- 答 新法により女性相談の法律上の位置づけが明確になった。現行の相談対応の中で必要とされる支援の拡充を研究したい。

学校間交流の実現に向けた取り組み方針と 学校グラウンド整備の考え方は



宮代 一利 議員

- 問 武蔵野市らしさについて、市長はどのように考えているか。
- 答 ハード面では緑多いまちであり、ソフト面では市民参加により市政を進める、市民自治のまちであると考えている。
- 問 中学生から学校間の交流を求める声があるが、見解は。
- 答 現在はさまざまなリスクを勘案し、実施に対して慎重に判断しており、できるようにするための方策は時間をかけて検討する必要がある。複数校での合同行事は、教育委員会ですでにさまざま開催しているが、市主催の行事も含めて考えてみたい。
- 問 学校グラウンドの整備に関する取り組みを伺う。
- 答 今年度から隔年で市立小・中学校9校で、専門業者による点検を行うこととした。学校から教育委員会へさまざまな困り事を相談できるよう、風通しのよい関係を構築していきたい。

3歳児健診や吉祥寺南病院の課題、 メタバース^{*}の活用についての見解は



藪原 太郎 議員

- 問 3歳児健診受診票にきつ音という項目を作るべきだが見解は。
- 答 きつ音という言葉の解説を載せる前提で、前向きに検討する。
- 問 本市における今後のメタバース活用についての考えを伺う。
- 答 近隣市との共同研究で有効性を確認している。DXの推進によりオンライン申請を進め、来庁せずに済む市役所を目指す。
- 問 武蔵境の魅力発信につなげるため、SHIROBAKOマンホール設置記念のイベントを行うべきだと考えるが見解は。
- 答 詳細は決定していないが、武蔵境商店会連合会をはじめ地域の皆様と連携のうえ、実施する方向で検討を進めている。
- 問 吉祥寺南病院閉院に関し市民病院を求める声もあるが見解は。
- 答 開設時の建設費用や医療機器の維持費、医師をはじめとする医療スタッフの確保等の問題があり、慎重な対応が必要だ。
- ※インターネット上に存在する仮想空間

二中・六中の統廃合を白紙にするという 市長公約に反していないか問う



橋本 しげき 議員

- 問 武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画テーマ別論点集に、中学校の統合も含め検討するとの記載があるが、二中・六中の統廃合を白紙にするという市長公約に反しているという自覚は。
- 答 第二次調整計画策定委員会では、二中・六中に限らず全市的視点で、適正な校数や校舎の在り方を議論していただきたい。
- 問 都市計画にある建築物の高さ制限を見直したいということか。
- 答 50メートル制限の見直しではなく、新しいまちづくりとして高さ制限の議論を行う場合はあり、総合的視点で検討していく。
- 問 樹冠被覆率^{*}の考え方に関し、①気候危機対策としての有効性は②次期(仮称)緑の基本計画2027において導入すべきでは。
- 答 ①ヒートアイランド現象の緩和や木陰の創出等、さまざまな視点で有用と考える②次期計画改定時に考え方を議論したい。
- ※市全体の面積に対する、樹木の枝や葉が茂っている部分の割合

保健センターをインクルーシブ防災拠点に



大野 あつ子 議員

- 問 保健センターの増築に際し、首都直下地震への備えとして、一番身近で要配慮者を救済する災害時福祉拠点としての役割を保健センターの機能に追加すべきだと考えるが、見解は。
- 答 災害時拠点としての整備は重要と認識している。災害時福祉拠点としての位置づけは施設の収容能力や人的資源、地域や関係機関との連携、他部門との連絡調整も含め慎重に考えたい。
- 問 家庭の廃食油を持続可能な航空燃料(SAF)とするため、廃食油の回収を再開してはどうか。
- 答 本市の回収事業は、回収量の減少や、資源化できる事業者の撤退等により令和2年度に終了した。東京都でも回収促進事業を行っており、他自治体の動向を注視しつつ、民間事業者との連携手法など、さまざまな角度から研究したい。

地域の担い手不足における議論の深化、 小・中学生の通学時の荷物重量の軽減を



本多 夏帆 議員

- 問 地域の担い手不足問題に関し、これまでのルールでは若い世代が市政に関わりにくく、議論を深めるべきと考えるが見解は。
- 答 一つ一つの状況を丁寧に議論すべき時期が来ていると考える。
- 問 小・中学生の通学時の荷物重量について、現状どの程度の重さになっているのか学校ごとにヒアリングを行ったうえで、学年別に適正な重量を研究する必要があると考えるが見解は。
- 答 子どもの体格により適正な重量は異なると考えるが、教育委員会としても重量を軽くしたいとの思いは持っている。タブレットの更新についても、軽いものを選定するよう検討している。
- 問 睡眠商法に関し、市内の状況や相談体制、取り組み等を伺う。
- 答 市の消費生活センターや、国や都の運営する各センター等で相談を受けており、8月15日号市報で注意喚起の記事を載せた。

リュック軽量化への環境整備(デジタル 教科書・冷水機の全校設置)を早急に進めよ



蔵野 恵美子 議員

- 問 子ども議会での登下校リュック軽量化の質問を受け①教科書デジタル化の科目拡大②冷水機や給水機の全校設置が必要では。
- 答 ①分割して必要分だけ持ち帰れる教科書等、他方策も考え検討したい②新校舎の設置は考えるが既存校舎は考えていない。
- 問 災害時家庭用携帯トイレの購入費助成や全戸配布への見解は。
- 答 公園等の災害用トイレも全体的に検討し、積極的に進めたい。
- 問 都のフリースクール利用者等への助成開始を受け、本市でも不登校者数等の現状把握や、通所型施設への対応が必要では。
- 答 通所型施設への対応は、都の情勢を見極めたうえで議論が必要だ。市内不登校者等の現状把握は課題であり適切に行いたい。
- 問 民間連携含めまちづくりとしてベンチ増設を求めるが見解は。
- 答 全庁で設置場所を探し、置けるところがあれば対応したい。

子どもたちが生きる力をつけるため、 武蔵野プレイスの未利用会議室等の開放を



小林 まさよし 議員

- 問 武蔵野プレイスで30分以上未利用の会議室を、子どもたちが学習スペースとして無償利用できるよう、運用の変更は可能か。
- 答 30分を過ぎても未利用の場合に開放するという運用への変更は、課題を全て把握しておらず、御意見は運営団体へ伝えたい。
- 問 新たなピアノの購入に伴い、古くて使用頻度の低いピアノをにぎわい創出のためストリートピアノとして活用してはどうか。
- 答 管理や音に課題があるが可能性について前向きに研究したい。
- 問 平成20年以来設置されていない、有識者や市民を含む行財政改革委員会を設置し、事務事業や補助金を見直すべきでは。
- 答 第七次行財政改革を推進するための基本方針は策定中である。その後の基本方針の策定や行財政改革の進め方は、今後改めて検討する。

陳情 審議結果

採択

・ボランティアごみ袋収集個数に関する陳情
意見付き採択

・歩行者及び自転車運転中の「ながらスマホ」規制に関する陳情 (※)
(意見) 陳情の趣旨は了とし、今後交通環境の改善に向けて調査・研究に努められたい。

不採択

・「当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情
ごみ収集支援に関する陳情

継続

・三井不動産(株)が進める「(仮称)東京都武蔵野市吉祥寺東町三丁目計画」に関する陳情
ごみ減量と資源化に努める市民を励ます環境政策を求める陳情

(※)は継続審査となっていたものです。

総務委員会 行政視察報告

令和6年7月に総務委員会で、下記のとおり行政視察を実施しました。
委員会視察報告の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。



委員会	総務委員会
テーマ	議案第57号 グランドピアノの買入れについての審査に伴う現状視察
目的	議案第57号 グランドピアノの買入れについての審査に伴い、市内の各公共施設に設置されているピアノの現状および都内の公共施設に設置されている同型のピアノを調査する。

日程：
令和6年7月8日(月曜日)

視察先：
武蔵野スイングホールおよび
武蔵野市民文化会館

内容：
今回、買い換えの提案のあったスイングホールのスタインウェイ社製ピアノ1台、および文化会館に設置されるピアノの実態、利用状況や管理状況などについて、調律を委託する事業者から詳細を伺った。



総務委員会行政視察の様子

日程：
令和6年7月19日(金曜日)

視察先：
江東区豊洲文化センター
豊洲シビックセンターホール

内容：
都内で唯一、ファツィオリ社製のピアノを設置する公共施設である豊洲シビックセンターを訪問し、選定の経緯、保守管理の状況、利用状況などの実態を伺った。



総務委員会行政視察の様子

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。
※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。
議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ ☎60-1884		
道場 ひでのり	きくち 由美子	
ひがし まり子	木 崎 剛	
山 崎 たかし	与 座 武	
立憲民主ネット ☎60-1889		
菅 源太郎	藪 原 太 郎	
蔵 野 恵美子	西園寺 みきこ	
川 名 ゆうじ	深 沢 達 也	
市議会公明党 ☎60-1887		
大 野 あつ子	浜 田 けい子	
落 合 勝 利		

※会派構成が変更になりました。

日本共産党武蔵野市議団 ☎60-1888		
橋 本 しげき	三 島 杉 子	
本 間 まさよ		
日本維新の会武蔵野市議団 ☎60-1885		
深 田 貴美子	東 山 あきお	
ワクワクはたらく ☎60-1890		
宮 代 一 利	本 多 夏 帆	
無所属むさしの ☎60-1944		
さこう も み	山 本 ひとみ	
会派に属さない議員 ☎60-1909		
小林 まさよし	下 田 ひろき	

議案審議結果(議決)一覧

第3回定例会

【市長提出議案(12件)】

- グランドピアノの買入れについて 可決(賛成多数)
※武蔵野スイングホールに、新たにイタリアのファツィオリ製のグランドピアノを買い入れるもの。金額は3,232万9,000円。
※総務委員会で継続審査となっていました。今定例会で可決されました。
- 武蔵野市印鑑条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※証明書窓口受付端末機による印鑑登録証明の申請等の規定を追加するなどの改正を行うもの。
- 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
※国民健康保険法の改正などに伴い、被保険者証の返還に関する規定を削除するなどの改正を行うもの。
- 武蔵野市立武蔵野芸能劇場ほか2施設の指定管理者の指定について 可決(賛成多数)
※市内の3つの文化施設(武蔵野芸能劇場、武蔵野スイングホールおよびかたらいの道市民スペース)の指定管理者に、アクティオ株式会社を指定するもの。
- 令和6年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回) 可決(賛成多数)
- 令和6年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
- 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※建築基準法の改正に伴い、条例における法律の引用条項を改正するもの。
- 令和6年度武蔵野市一般会計補正予算(第3回) 可決(全会一致)
- 令和5年度武蔵野市決算の認定について 認定(賛成多数)
- 令和5年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 可決および認定(全会一致)
- 令和5年度武蔵野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 可決および認定(全会一致)
- 武蔵野市教育委員会委員の任命の同意について 同意(全会一致)
※本市教育委員会委員に下田 昌子 氏を任命することについて、市議会の同意を求めるもの。

【議員提出議案(1件)】

- 当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書 否決(賛成少数)

議案に対する各議員の賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。



市議会からのお知らせ

所属会派の変更について

- ・小林 まさよし 議員が自由民主・市民クラブを離れ、会派に属さない議員になりました。(令和6年7月19日付)

全員協議会

以下のとおり、全員協議会が開催されました。
・武蔵野市立保健センター増築及び複合施設整備について(令和6年10月7日)
※会議録の速報版をホームページに掲載しています。正式な会議録は最終校正後(おおむね会議開催後から2か月後)会議録検索システムへ掲載されます。

..... 市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。.....

議 会 事 務 局

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ <https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>